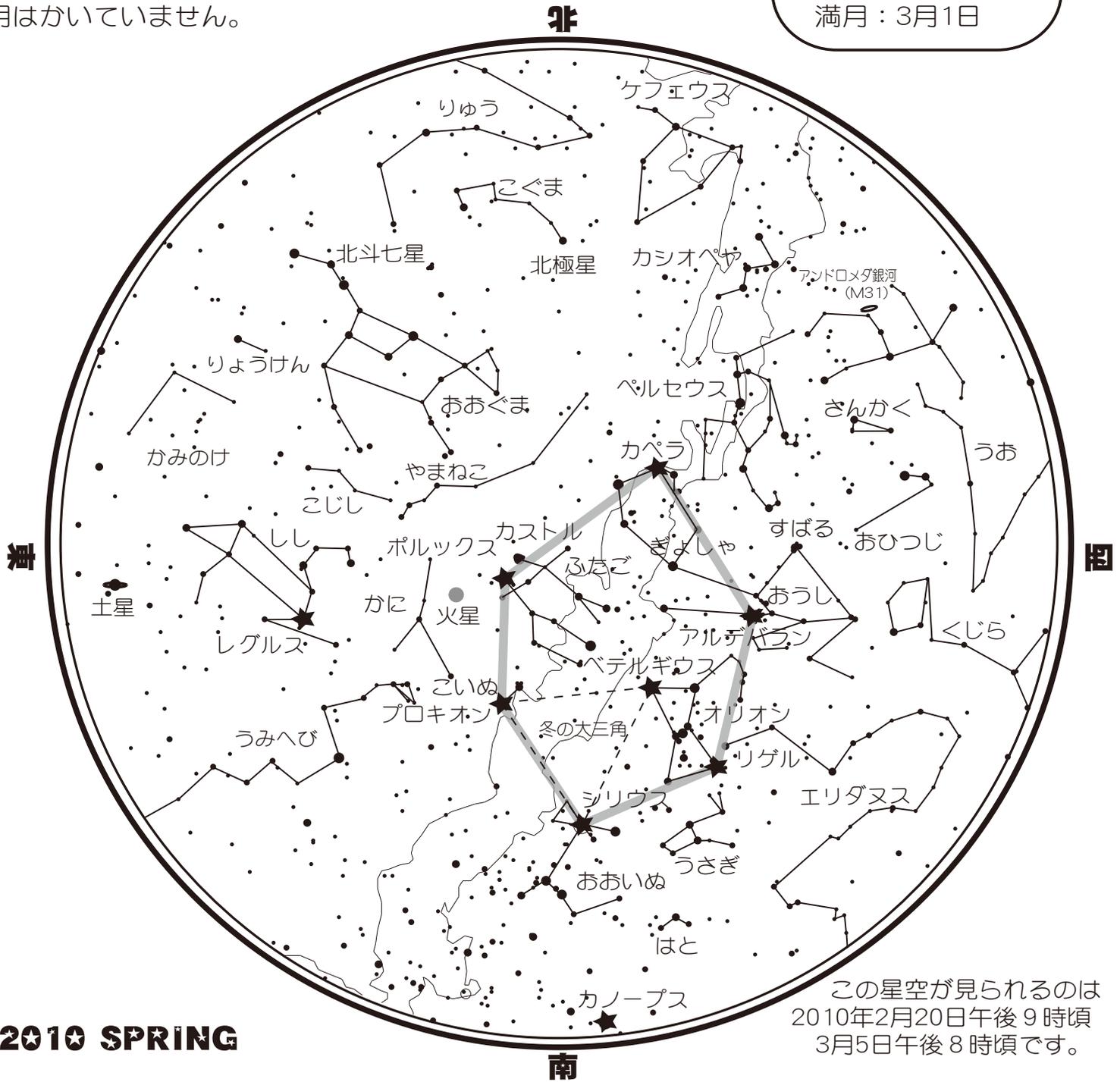


★ 姫路で見る2月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

新月：2月14日
上弦：2月22日
満月：3月1日



この星空が見られるのは
2010年2月20日午後9時頃
3月5日午後8時頃です。

2010 SPRING

地球の兄弟星である惑星のうち、今最も見やすいのは火星です。火星表面はさびた鉄のような物質でおおわれており、地球から見ると赤く輝いて見えます。

夜空では、冬の星座の星たちがにぎやかに輝いています。南の空に見える砂時計のような星の並びは、狩人オリオンの姿です。その肩にはベテルギウス、足首にはリゲルが輝きます。オリオンの左側には、狩りを手伝う2匹の犬、おおいぬとこいぬがいます。おおいぬ座のシリウスとこいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを線で結ぶとできるのが『冬のダイアモンド』。また、冬の星座の一等星をリゲル→シリウス→プロキオン→ポルックス→カペラ→アルデバランと順番にをたどってできる六角形を『冬のダイヤモンド』とよんでいます。

東の空にはかに、しし、うみへび、おおぐまなど春の動物たちの星座の星が輝きます。夜も少し暖かい日には、いつもより長く夜空を眺めてみてはいかがでしょうか？